



鎌倉三田會 會報

第33号

2023(令和5)年5月20日発行
発行人 久保田 陽彦
鎌倉市小町2-11-19(株)豊島屋内
<https://kamakura-mitakai.jp>

ご挨拶

鎌倉三田会会長 久保田 陽彦

鎌倉三田会会員の皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。
世界中に猛威をふるっているコロナウィルスも色々な意味で共存できるようになってまいりました。我々鎌倉三田会も昨年のサマーフェスティバルを皮切りに少しずつではありますが、コロナ前のような活動に戻せるようになってまいりました。

そのような状況下、去る2月5日鶴岡八幡宮直会殿にて鎌倉三田会総会が行われ、第1号議案から第4号議案まで慎重審議頂きご承認を頂戴致しました。ありがとうございました。(5ページの資料をご参考にして下さいませ。)

今年度の鎌倉三田会は前にも述べましたが、以前のような活動が出来るようになると思います、色々な面で注意をはらって行えればと思います。

我々はこの状況下においても様々な知恵を出し合い、その状況を楽しむすべを考えてまいりました。これからもその場面にふさわしい対応で、また、塾員としての誇りをもって行動したいと存じます。これからも鎌倉三田会を宜しくお願い申し上げます。



久保田陽彦会長挨拶



総会開会前に応援指導部OB指揮により「若き血」を黙唱

2023年度 鎌倉三田会 サマーフェスティバル開催のご案内

「With Corona時代」の幕開けです。昨年は会員限定で、「サマーフェスティバル」(旧懇親会)を、復活致しました。おかげさまで沢山の会員の皆様にご参加戴き、盛況のうちに無事終えることができました。今年も幹事一同下記のように企画しております。開催できることを祈念しつつ、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

日 時：2023年7月2日(日) 午前12時より午後2時頃まで
場 所：鎌倉プリンスホテル・バンケットルーム『七里ヶ浜』
会 費：【開催後引落】10,000円(要予約・当日参加12,000円)※介助・付添いの方は半額
※着席ビュッフェスタイルです。アルコール類も提供します。
プログラム：三色くじ大抽選会(1枚¥500はずれ無し)をメインアトラクションとして実施。
※賞品のご協力をお願い申し上げます。

*サマーフェスティバルの参加予約をされた方の参加費は、開催後自動引落とし(年会費と共に)とさせていただきますのでご準備をお願い申し上げます。(サマーフェスティバル実行委員長 平岡 直樹)

慶應義塾大学SFC研究所ソーシャル・ファブリケーション・ラボ田中浩也教授と鎌倉市が
取り組む、鎌倉版「スマートシティ構想」 — COI-NEXT 本格型プロジェクトへ昇格

「市民参加型の循環型都市を目指して」（連載第4回）

慶應義塾大学SFC 環境情報学部教授 田中 浩也

慶應義塾大学と鎌倉市が共同提案していた、市民参加型の新しい循環型都市づくりのプロジェクトが、約1年半の審査期間を経て、文部科学省/JSTによるCOI-NEXT本格型プロジェクトへと昇格しました。これによって、プロジェクトは2023年4月から2032年まで10年間の長期にわたって実施されることが決まりました。

鎌倉はこれまでも環境共生意識の高い地域として知られており、令和2年度の環境省の発表によれば「リサイクル率」は52.7%で、人口10万人以上の都市で全国1位です。「ゼロ・ウェイストかまくら」を目指したたくさんの試みが、現在も進められています。そのような状況をさらに発展させるため、慶應義塾大学から貢献しようと考えているテーマは大きく3つあります。

ひとつめは、プラスチック分解菌の研究やAI（人工知能）など、基礎研究が進められてきた最先端の科学と技術の鎌倉市への導入を進め、ごみ収集経路を最適化したり、「焼却」「埋め立て」に代わる、新しい処理方法を生み出していくことです。世界ではじめてペットボトルを分解できる微生物を発見した日本人研究チームの中核メンバーである宮本憲二教授（理工学部）や、中澤仁教授・三次仁教授・ロドニーバンミータ教授（SFC）ら、一流の研究者が参加予定です。

ふたつめは、資源がどこで集められ、どこに運ばれ、どんなものに生まれ変わり、どこで使われているのか、まちのサプライチェーン全体を「見える化」するためのシステムの開発です。「リサイクル率」は、発生した廃棄物のうち、回収した資源量の割合を表したのですが、資源化された後、どのようなものに生まれ変わり、利活用されているかは必ずしも捕捉できてきませんでした。今回その全体像を見えるようにし、日本ではじめて、「地域の資源循環率（サーキュラリティー率）」という新しい指標を導き出せたらと構想しています。

最後のみつつめは、鎌倉で導入されている地域デジタル通貨「クルッポ」等を用い、循環に参加することで、市民ひとりひとりの満足感や充実感が高まるかどうか、どのように高まるのかを行動経済学的に調べていくことです。わたしたちが目指しているのは、資源を循環させるだけでなく、それを通じて市民が幸せになっていく社会です。まちに複数の循環の「選択肢」があり、自らがよいと思ったものを選んで循環に参加するようになれば、「消費者」ではなく「循環者」となって、新たな生きがいを獲得していくような社会が生まれます。

この3つのテーマを軸にさまざまな研究を進め、最終的には「鎌倉－慶應モデル」を、日本各地、世界各地へと横展開していくのが10年後の最終目標です。

最後に、10年間のスタートにあたって、鎌倉市教育委員会とも連携しながら、小中学校の「総合の学習の時間」向けに教育カリキュラム「循環者になろう。」を提供していくウェブサイトを公開しました。ぜひご覧いただき、ご意見をいただければと思います。これから10年間、どうかよろしくお願いいたします（※2023年10月には市民シンポジウムも予定しています）。<https://junkansha.jp/>



選抜高校野球大会観戦記

平岡 直樹（昭59経）

3月21日春分の日、第95回選抜高校野球仙台育英高校との1回戦、念願の甲子園での応援です。祝日の14:00試合開始でしたので、羽田からスカイマークで神戸空港へ回り、神戸三宮で昼食をとり万全の態勢で球場入しました。塾高の野球部は秋の県大会から1年生エースの小宅（おやけ）君と打線が好調で、県大会準々決勝では東海大相模を破り、関東大会では見事ベスト4入りしての選抜の切符を手に入れました。

サード清原勝児君はPL学園で活躍したあの清原和博の次男で、息子の応援に来たお父さんの姿も話題でした。当日、久保田陽彦会長もいらっしゃいました。会長は伊藤公平塾長・山内慶太常任理事ともお会いしたとのことでした。生憎の本降りの雨の中試合開始。序盤1～3回は毎回出塁するなどチャンスがあったのですが、8回終わって慶應のヒットは4本のみ。1点差を追っての9回表1アウトから代打安達君の初球同点ヒットでスタンドのボルテージは上がり、今大会から取り入れられたタイブレークで迎えた延長10裏1アウト満塁で出た、あわやレフト前ヒットを福井君がホームへ好返球！キャッチャー渡辺憩君が難しいショートバウンドを見事キャッチし、ミットを高々と揚げレフトゴロに仕留めたときはスタンドが歓声で揺れたのですが、あと1歩及ばずゲームセット。でも相手は昨年夏の優勝校。経験者が7人も残り、球速140kmを超す投手を5人も擁する相手に大健闘でした。「あっぱれ！」をあげたいです。応援席に向かって整列し挨拶する選手に拍手を送る甲子園。悔し涙か春雨か、かすむカクテルライトに浮かぶ芝生の緑は一段と鮮やかでした。



昨年夏の優勝校
仙台育英高校との対戦



応援席に向かって
挨拶する選手達

寄稿 塾 - 私の学び舎⑫

今に生きる塾での学び

末吉 里花（平11総政）

祖父が塾員だったため、幼少期は早慶戦や連合三田会大会などに連れていってもらった思い出が今も心に残っている。父の仕事の関係でニューヨークに暮らしたことで、慶應義塾ニューヨーク学院の3期生として高校時代を過ごした。ほとんどが日本人だったとはいえ、海外在住をバックグラウンドに持つ多様な生徒たちの集まりで、互いの人格を尊重し、さまざまな価値観を認め、協力して生きるための環境がそこにはあった。大学は創立6年目の総合政策学部に進み、アメリカの大学並みの広々とした湘南藤沢キャンパスで学ばせてもらった。大学での学びで最も大きかったのは、包括的に俯瞰して見る視点を持つということかもしれない。私は今、環境問題や社会課題を解決するための活動を行なっているが、すべての問題は相互に絡み合っており、環境、社会、経済などを多角的に見て「木を見て森を見ない」が起きないようにすることがとても大事であると痛感している。

実は2024年に卒業25周年を迎えるにあたり、記念事業の実行委員長を拝命した。今まで母校には何も出来ていなかったのが、少しでも恩返しがしたいのと、次世代のために貢献したい、という気持ちでお引き受けした。

（一般社団法人 エシカル協会代表理事）

福澤先生と海舟の微妙な関係 その5

～咸臨丸の水事情が引き起こす、あわや決闘?!～

高山 みな子（昭60文）

前回までに、咸臨丸はジャンボジェットの半分かくらいの大きさで、そこに109名の乗員と多量の荷物が乗っていることを書いた。航海で頭を悩ますものの一つが水だ。飲料水のみならず料理、洗濯と水は欠かせない。しかしスペースの関係上いくらでも載せられるわけではない。限られた水をどう使うか。『乗組諸士へ示す船中申し合せ書』（以後『船中』と略）という航海中のルールブックはまず水の使い方から始まる。

「一、船内では水は節約第一とする。士官、水夫を問わず等しく一人1日2升5合（4.5リットル）まで、その他は一切使ってはならない。但し病人用は除く。」（現代語訳は筆者）

4.5リットルは一見多いように見えるが、米を「飯となす時は、海水で洗い、清水で流すのは1回だけ、これに水1升。炊飯に5合。」（『船中』）。士官・鈴藤勇次郎（「咸臨丸」で検索すると一番最初に出てくる、荒波にもまれる咸臨丸の絵を描いた人〈その3に掲載〉）の『航垂日記』にも「皇国ノ人ノ食ハ多量ノ水ヲ用ユル故、水桶二鍵ヲ卸し、銘々勝手ニツカウ事ヲ禁ズ。」とある。

「髭や月代^{さかやき}を剃るために多くの水は使ってはいけない。4、5日に1度にし、1回あたり1合より多く使うことを禁じる」（『船中』）

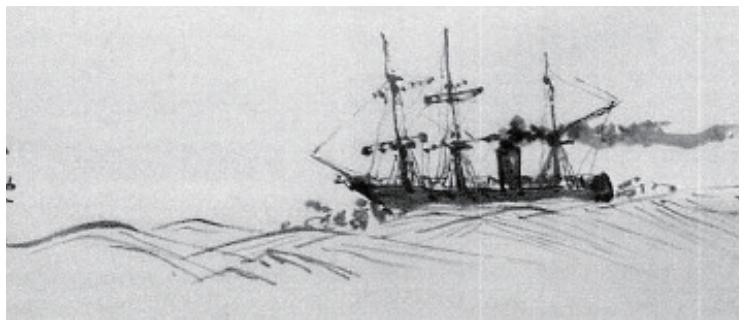
「洗物ハ総テ海水ヲ用ユ」（『航垂日記』）、海水で洗った木綿の着物はばりばりで着心地は悪かっただろうし、航海中は悪天候続きで洗濯物がばりっと乾くこともなくべたついたことだろう。衣食の苦労は想像に難くない。

さて航海も日にちが過ぎ水も乏しくなってきたので途中、給水のためハワイに寄るか寄らないかという話が持ち上がった。議論の末、節約すればサンフランシスコ直行で問題ないということになったが、この節水がもとで一悶着起きてしまう。

福澤先生もその事情を書いておられる。

「それから水の節約だ。何でも飲むより外は一切水を使うことはならぬということになった」

（『福翁自伝』）のだが、アメリカ人水夫のフラ



「咸臨丸」 海舟画

ンク・コールという者が貴重な水を使って下着を洗濯。それを見つけた士官・吉岡勇平が物も言わずにその顔を蹴り上げた。コールはわめきながら仲間を集め吉岡にピストルを構え、吉岡も刀に手をかけた。この騒ぎに勝海舟、中浜万次郎、ブルック大尉も駆けつけた。「カピテン（ブルック大尉）の言うには「水を使ったら直ちに鉄砲で撃ち殺してくれ、これは共同の敵じゃから、説諭も要らなければ、理由を質問するにも及ばぬ、即刻銃殺してください」と言う。」（『福翁自伝』）このブルックの潔さに福澤先生は大いに感激している。

結局ブルックと勝の握手でことは納まったのだが、私たちも一度災害に遭えば水がいかに生活に切っても切り離せないか身に染みて思い知る。飛行機もない時代、誰も補給には来てくれない広い太平洋の上での出来事であった。（勝海舟 玄孫）

総 会 報 告

第1号議案 令和4年度事業報告

《総会》コロナ禍において書面総会にて開催致しました。
 《サマーフェスティバル》
 7月3日（日）鎌倉プリンスホテルにて開催された。
 参加者103名で、着席スタイルで行った。
 《家族会》コロナ禍において中止致しました。
 《会報発行》本年度は下記のように発刊させて頂きました。
 会報31号 令和4年5月20日発行
 会報32号 令和4年11月1日発行
 《親睦会》各親睦会の活動はHP等をご覧下さい。

第3号議案 令和5年度事業計画案

《総会》
 令和5年2月5日（日）鶴岡八幡宮直会殿にて開催する。
 《サマーフェスティバル》
 令和5年7月2日に鎌倉プリンスホテルにて予定しております。
 《家族会》
 秋に小旅行を予定しております。
 《会報発行》
 年2回の発行を予定しております。

第2号議案 令和4年度決算報告(監査報告含む)

収入	収入	支出
年会費	1,661,840	0
総会収入	0	0
懇親会収入	924,000	0
家族会収入	0	0
その他収入	32	0
前期繰越金	3,354,955	0
収入小計	5,940,827	0
支出	収入	支出
総会支出	0	74,214
懇親会支出	0	1,240,344
家族会支出	0	0
渉外費	0	20,000
広告費	0	22,000
通信費	0	119,837
印刷費	0	213,125
幹事会費	0	0
雑費	0	0
HP運営費	0	9,880
振替手数料	0	26,629
保険料	0	1,826
寄付金	0	0
支出小計	0	1,727,855
次期繰越金	0	4,212,972
収支計	5,940,827	5,940,827

第4号議案 令和5年度予算案

		令和5年度 予算		備考
		収入	支出	
収入の部	年会費	1,500,000		年会費3000円×500名
	総会収入			
	懇親会収入	800,000		会費8000円×100名
	家族会収入	160,000		会費8000円×20名
	その他収入			
	前期繰越金	4,212,972		
収入 計		6,672,972		
支出の部	総会支出		200,000	
	懇親会支出		1,400,000	
	家族会支出		400,000	
	渉外費		200,000	
	広告費		25,000	
	通信費		500,000	
	印刷費		300,000	
	幹事会費		150,000	
	雑費		30,000	
	HP運営費		40,000	
	振替手数料		120,000	
	保険料		90,000	
	寄付金			
	支出 計		3,455,000	
次期繰越金			3,217,972	
合 計		6,672,972	6,672,972	

以上の通り報告致します。

令和5年1月9日 鎌倉三田会 会長 久保田陽彦

令和4年度決算を監査の結果、誤りのない事を認めます

令和5年1月20日 鎌倉三田会 監事 足立良作

鎌倉三田会 監事 後藤英樹

親 睦 会

歩こう会

世話人 平塚 眞

makoto-wakadaishoumodoki@jcom.zaq.ne.jp

私たちの会は、「健康増進・鎌倉市内及びその周辺の知識吸収・会員の親睦」を目的として毎月ウォーキングをしております。実施日：原則として毎月第三月曜日 ただし、固定されたものではなくほかの日の場合もあります。[通常のスケジュール]当日の朝、鎌倉駅西口の時計台前に集合⇒ 10時出発⇒ (昼食はお弁当持参)⇒ 午後2時から3時頃に解散①コース：主に鎌倉市内、時には横浜・東京・箱根などへの遠出(すべて日帰り)もあり②参加者は直接集

合場所に集合(事前連絡不要)③会費不要④毎月5日頃と実施日の2～3日前の2回、案内メールを送付します。

*従来は年間スケジュールを作成してそれぞれリーダーをお願いしておりましたが、パンデミック以降はそれもままならず、いまは毎月コースを考えております。早く正常な形に戻したいと思っております。

*また、解散後希望者で居酒屋へ繰り込み、歩く会ならぬアルコール会を開いていましたが、現在は中止しております。これはコロナの落ち着いた状況で復活を考えます。*過去のアーカイブはホームページをご覧ください。*高齢者が多い会ですので、りきまないで、のんびりと歩き続けたいと思っております。



3月24日 報国寺

丘の上句会

代表・選者 高木 幽苑(森二)

世話人 山崎 宗城 44-5876 永野 修武 22-6961 岩壁 眞知子

彼岸寺
虚子と二文字の墓
拝む

幽苑

丘の上句会は、第162回句会を3月22日に鎌倉市生涯学習センターの集会室で予定通り開催しました。会員数は前回と変わらず選者を含め8名の小グループです。毎月の句会に相応しい季語を大切に、平明で余韻のある句を心がけています。選者の祖父に当たる虚子翁の逸話や吟行で訪れた各地の話題など各人の句の選句から話題は広がり楽しいひと時を共有しています。入会希望者はご連絡ください。



第162回句会 生涯学習センターにて (2023年3月22日)

●(参加者より) 何年経っても句作はなかなか上手くいきませんが、毎月の句会では同窓の顔合わせに楽しみや親しさを感じています。自然との関わりに身を置きながらいくつになっても気楽に出来、思い切って始めて良かったと思っています。(岩壁眞知子 昭50文)

ロボット・ものづくり研究会

代表 林 達郎

世話人 林 大雅 22-1445

竹下 俊二 95-3126

コロナ時代で、会合は開いて居りません。専ら、情報収集のため、個人で講演会に参加するなどに努めています。最近では鎌倉淡青会主催の養老孟司先生の講演会への個人参加もありました。講演の内容は多岐にわたりましたが、2038年問題(南海トラフ地震)は印象深く、今後ロボット・ものづくり研究会でもとりあげたいと思います。活動再開に向けて各々準備している状況です。



ロボット・ものづくり研究会主催講演会で
おなじみの会員制作の旗

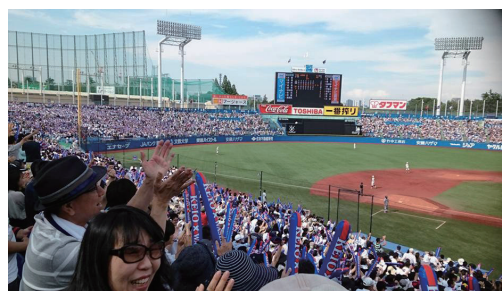
親 睦 会

早慶戦で応援する会

世話人 峯村 信太郎 090-1896-0671

早慶戦で応援する会も17年目を迎えます。2000年度の春シーズンからはコロナのため応援活動を中止していましたが、ようやくこの春シーズンから活動を再開します。再開第一回は、5月27日(土)の硬式野球の早慶戦(神宮球場)を計画しています。

2022年度の体育会の早慶戦の結果は、67戦26勝40負1分となっています。今年度は従来通り、硬式野球、ラグビーを中心に応援を復活したいと考えていますが、応援したい早慶戦があれば世話人までご連絡ください。



コロナ禍以前の応援風景

美 術 部

代表 平本 洛外

世話人 永野 修武 22-6961

会員とその家族が年一回作品を持寄り「美術展」を開催していましたが第20回以降コロナ禍の為活動を休止せざるを得ませんでした。漸く再開出来る状況になったので今秋待ちに待った展覧会を開催しようと考えています。展覧会は美術と言う共通の絆の中で結ばれた仲間がそれぞれ異なる分野の作品を持ち寄って、の楽しい展示内容です。最近の美術の世界はデジタルアートから消しゴム版画まで大きく広がっています。こうした新しいジャンルも含め、日本画、洋画、陶芸、書道など、ご自身の作品を出展して見たい方、大歓迎ですので是非世話人までご連絡下さい。



コロナ禍以前の会場風景

囲碁クラブ

代表 松岡 和雄

世話人 市川 勝弥 25-4082

コロナ禍対応の為、三年前の令和2年3月より、活動を中止し、11月、12月に一旦再開したものの、令和3年1月より再び活動を中止したまま、現在にいたっています。今年3月に活動再開を呼び掛けましたが、若干人数不足で、再開に至っていません。代わりに個人的活動として、長谷と小町の二カ所の碁打ち場に有志が通っています。

「小町碁打ち場の活動内容」場所：鎌倉彫会館4F(小町)

日時：毎週、月、水、金 13時より16時30分迄 料金：1000円/回



2023年4月7日(金) 於 鎌倉彫会館4F 段葛通り沿い 雨模様の日

フォトクラブ

世話人 安藤 昇

nando@ck2.so-net.ne.jp

コロナ禍以前は春秋の写真撮影会と夏の勉強会を中心にフォトクラブ会員の親睦をはかっておりましたが、現在はメンバー各自、個人で撮影を行っています。今年は久しぶりに新年会を行いました。フォトクラブ全員での撮影会は5月頃の再開を目指し、日程を調整しているところです。興味のある方は世話人までご連絡ください。カメラはコンパクトカメラでも結構です。



2023年 新年会

親 睦 会

読 書 会

代表 川又 良一
世話人 濱田 克彦 046-872-5031

読書会はコロナ感染症対策として現在も休会中です。

ゴルフ愛好会

世話人 足立 良作 23-3184 (r.adachi62@salsa.ocn.ne.jp) 香坂 雅俊 22-0986
山本 均 23-6154 (yamamotoharu@jcom.zaq.ne.jp)

ゴルフ愛好会のメンバーは約40名(常連メンバーは20名程度)です。コロナ禍で十分には活動できない時期もありましたが、通常年5回コンペを実施しています。・鎌倉三田会のみゴルフを2回(春と秋)・湘南4地区(鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、逗葉)三田会ゴルフを2回(春と秋)・鎌倉6大学ゴルフを1回(7月頃)ゴルフ好きの会員が各々の都合により気軽に参加しますので、各ゴルフ会に10名程度集まります。多くの皆様にゴルフ愛好会に加入していただき、一緒にゴルフを楽しみたいと思います。興味のある方、入会希望の方は、世話人までご連絡ください。



秋の湘南4地区三田会懇親ゴルフ
@箱根カントリー倶楽部 2022年10月

●(参加者より) 7年位前から年に一回くらいのペースで参加しています。昨年は鎌倉6大学のコンペに参加しました。残念ながら準優勝となりましたが、皆さんお上手でベスグロ、ドラコン、ニアピンの各賞を三田会がほぼ独占しました。今年も1回くらいは参加したいと思います。(八星 暁 昭53商)

事務局便り

桜に始まり花々の開花が早く、この春は急足のような感じでした。少しずつ親睦会に動きが出てきたのは嬉しいニュースですが、その分、世話人様方のご苦労はいかばかりかと拝察いたします。また、皆様には長い間のご協力を戴きまして心より感謝しております。政府の発表によりマスク着用の義務が解かれますが、この原稿を書いている間も巷では罹患者増から第9波説が流れ出しました。しかし、季節が良くなれば自然と外へ出たくなります。この何年かで身につけた良い習慣を忘れることなく、日々、健康維持に努めてお過ごしください。

【年会費】

今年度の年会費振替は、サマーフェスティバルを見据えた7月頃を予定しております。ご準備をお願い申し上げます。自動引落しでない方、お手続きがお済みでない方は、所定の口座へお振込下さい。(お振込手数料は、ご負担いただきますようお願い致します。)

【新入会員のご紹介】 順不同

木元 麻鈴君(令2環) 勝浦 英二君(昭51商) 末吉 里花君(平11総政) 落合 義則君(昭43経)

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浅野 雅秋君(昭35工) 山口 忠篤君(昭39商) 高木 恒夫君(昭42特)
山田 良輔君(昭29経) 鈴木 一男君(昭33政) 神 明敬君(昭33経)
会員の方で事務局にご連絡いただいた方をご報告させていただいております。(高木)

編集 後記

田中浩也教授率いる循環/リサイクルプロジェクトが文部科学省により「本格型」として正式採択され、いよいよ私達も市民として塾員として更に意識を高めていかなければならない時代がきました。関連して、今号の「塾-私の学び舎」には鎌倉市エシカル消費推進アドバイザーを務める末吉里花君に登場いただきました。(瀧永)